

鬼北町立広見中学校
道徳通信
道徳主任 酒井 智有
NO. 75
令和8年6月25日発行

よりよく生きる

人権学習の紹介（3年生） 全国統一応募用紙

3年生は、全国統一応募用紙について学習しました。

1970年代前半まで、多くの企業が採用の際に使用していた独自の調査用紙（社用紙）には、就職差別につながる恐れのある質問がたくさん入っていました。これを是正するために、行政・教育機関・労働団体が協力し、「不要な個人情報を書かせない履歴書」として全国統一応募用紙が作られ、現在も「公正採用選考」の基本として全国で運用されています。

全国統一応募用紙の目的は、一言でいうと「出身や家庭環境ではなく、本人の能力で採用を決める」という原則を守ることにあります。

それでは、3年生が学習した差別につながる恐れのある質問項目を紹介します。

《差別につながる恐れのある質問項目》

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 戸籍謄本の提出 | 2 社用紙を使うこと |
| 3 身元（家庭）調査 | 4 家族の職業・続柄・健康 |
| 5 家族の地位・学歴・収入 | 6 家族の資産 |
| 7 住居状況 | 8 宗教 |
| 9 支持政党 | 10 生活信条 |
| 11 尊敬する人物 | 12 思想 |
| 13 本籍・生まれ育った場所 | 14 生活環境等に関する作文 |



続いて、全国統一応募用紙の主な内容や特徴を紹介いたします。

全国統一応募用紙



《記載するもの》

○氏名 ○生年月日 ○連絡先 ○学歴・職歴 ○資格・免許 ○志望動機

《書かないもの》

○本籍地 ○家族構成・家族の職業 ○宗教・思想 ○身体的特徴など不要情報
「採用に必要な情報だけ」に限定されているのが特徴です。

この学習の後、3年生は「ある先輩からの手紙」をいう資料を使って、就職差別について学びました。授業の感想を紹介いたします。

どんな人でも、まず他人と自分が違うということを理解することが大切なんじゃないかなと思います。1回受け止める！もちろん、相手と意見が違うこともあると思うけど、「だからそれは違うよ！」と否定するんじゃなくて、「あなたはそうなんだね」って受け入れる、理解しようとするのが大切なんじゃないかなと思います。私は平和的にいきたいので、差別的な発言をしている人でも、「それだめ！」じゃなくて、「それっていいのかな？」的な言葉を掛けて、平和的にいきたいです！！